

## サービスラーニングを振り返って

社会福祉学部社会福祉学科 2年 二村 彩音

活動先：NPO 法人 ゆめじろう

クラス：松下 典子 先生

この1年間 NPO 法人で活動してきて NPO 法人と地域とのつながりの深さを感じた。また NPO 法人の必要性を学んだ。私が活動した「NPO 法人ゆめじろう」では地域にまず知ってもらえるところから活動していた。ゆめじろうは今年 10 周年事業企画をしていた。マスコットキャラクターのゆめじろうくんを連れて地域のサロンへ出向き高齢者と関わりゆめじろうの宣伝や企画の宣伝をした。サロンでは地域の小学生からお年寄りまで幅広い層の多くの方が参加していた。多くの高齢者と関わる小学生にも多くの小学生と関わる高齢者にもとてもいい刺激だと思ったし、同時にこういった場の大切さも学んだ。地域でのつながりがまちづくりをしていくのだと思う。自分の育った町を振り返ってみたら、自分の地域でもこういった行事が行われていたことを思い出した。そこでもやはり多くの人に参加していて会話や食事を楽しんでいた。しかし行事があってもそれに参加しなければ意味がない。その参加を促す重要な役割を NPO 法人はしているのだと思った。NPO 法人は地域と人をつなげる役割もしていることがわかった。この「交流」「繋がり」を積み上げていくことが大切なのだと思う。そして、ゆめじろうでは、町内及び近隣市町村の高齢者・障害者・児童及びその家族に対し福祉制度、サービス利用、介護、療育、育児、子育て等の相談を委託事業として行っている。また委託とは別に無料で行っている活動もある。「住み慣れたまちでふうつうに暮らしたい」という理念をもとにすべての人を対象とし、身近で専門性を備えたサービスと共に提供しているのである。その中で私は、こじろうという児童デイサービスで支援の手伝いをさせて頂いた。こじろうでは町内及び近隣の学齢の障害児に対し、放課後・長期休暇の一時的な活動の場所を提供し、余暇支援、自立支援を行っている。そこで私は自閉症児と関わった。私は今まで自閉症の人と関わることがなかったため自閉症とはどんな障害かよく知らなかったしどのように接すればいいかもわからなかった。しかし、実際関わってみると同じ障害でも全く違ってひとり一人と関わるのがとても楽しかった。障害の特徴で注意しなければならないことはあったが、コミュニケーションをとることができた。そして活動の期間中に自分たちでお楽しみ企画を考えた。私たちがたこ焼きとかき氷を作り、子どもたちが食べるというものだった。しかし実際にやってみると子どもたちもたこ焼きを一緒に作ってくれた。カードゲームをして遊ぶこともできた。子どもたちは常に笑っていてゆめじろうに来ることを楽しみにしていた。そこでもゆめじろうの必要性、障害者や高齢者に安心できる場を提供することの大切さを感じた。そしてなにより自分自身地域福祉にとっても関心を持つようになった。ゆめじろうで活動する前は、地域福祉とは具体的に何かあまり理解していなかった。しかし活動を終えて、

地域活動がまちや人をつなげる役目をしていることや、地域活動に携わっているのはNPO法人だけでなく他にもたくさんあること、多くの人がNPO法人を必要としていることを知った。そして初めて障害者と関わりを持ち、これを機にもっと多くの障害者と関わりたい、理解を深めたいと思うようになった。そして自分で思ったこと、わかったことを広めたいと思った。また、関わるだけでなく自分にできる支援はないかと考えるようになった。これはNPO法人ゆめじろうと通して自分の成長できた部分であると思った。今回、現状満足でなく常に新しいことを追及しているゆめじろうから多くのことを学んだがその中でも最も地域のつながりの深さを学ぶことができた。

NPO法人ゆめじろうの活動を通して地域で活動している他の組織とのつながりも大切にしている。NPO法人も団体によって対象としている人、行っているサービスが違っている。そのNPO法人ごとに色があり特徴がある。さらにNPO法人がある場所によっても異なることや、そのまちごとに行事や特徴、町を活かした活動が行われていてNPO法人も繋がっているということがわかった。

現代社会では地域関係、人と人との関係の希薄化が問題になっている。しかし地域交流を行っていくことで、地域の人々が利用者への理解を深めたり、困っていることを相談できる場としてのNPO法人を知ってもらうことは大切なのだと思う。社会問題を解決するために様々な活動が行われている。そしてこの地域活動も社会問題のひとつを解決するのに大きく関わっていると思った。こうした活動は多く行っていく必要を感じた。

高齢社会になっている日本では今、孤立死が大きな問題のひとつとしてある。私は孤立死を減らすためには、孤立死そのものを防ぐのではなく、孤立死に至る経過を防ぐことが大事だと思う。行政による支援だけでは無理があると思うので高齢者が集まることのできる場を提供するなど、横のつながりを強化し、地域ぐるみでより良いコミュニティ、もしくは新たなコミュニティを形成していかなければならないと思う。ここで、NPO法人やほかの地域活動の必要性がわかる。地域交流を深めることで、孤立死を防ぐことになるのではないかと考えた。活動を通して様々なつながりを知ることができた。NPO法人は地域住民とつながっているだけだと思っていたが、地域のまちづくりのために多くの人、施設、団体が連携していることがわかった。例えば、NPO法人には地域活動支援センターや日中一時支援が関連しているし地域の人たちが行事に参加したりすることで社会問題も解決につながることをわかる。このひとつひとつのつながりを大切にしていけることが重要なのである。